

# ともに夢拓く

菊陽中学校  
学校通信  
令和7年7月2日  
第3号  
発行責任者  
高橋 誉  
松浦 直生

## 菊池郡市中学校 総合体育大会 ～大健闘！感動！～

六月二十一日から、菊池郡市中学校総合体育大会が行われ、運動部活動に取り組んできた生徒たちにとりましては、中学校三年間のまさに“大成”となる大会です。昨年度より、通常開催に戻り、今年度は大郡市・熊本市各所において、選手たちが最高のプレーを発揮できるように、大変素晴らしい会場を準備していただき、競技の結果、県大会

に出場する生徒もおりますが、三年生の多くが部活動引退となり、今後は希望する進路実現に向けて、部活動にかけた情熱を学習に向けて頑張る姿を期待しています。また、一、二年生においては部活動の中心となり、三年生に代わって学校の中心となるような活躍を期待しています。保護者の皆様も、これまで同様に応援のしるす。ようしくお願いいたします。

### 中体連大会及上位入賞 ※敬称略

#### ソフトテニス

男子団体優勝(県出場)  
男子個人  
井手・鍋島ペア 優勝(県出場)  
中俣・橋原ペア 準優勝(県出場)  
女子団体優勝(県出場)  
女子個人  
山内・野口ペア 準優勝(県出場)

バレーボール女子 準優勝

野球 準優勝



サッカー 優勝(県出場)

#### 柔道

男子団体 準優勝  
男子個人  
軽量級の部 野田, 吉野 3位  
中量級の部 馬場 2位  
重量級の部 元村 3位  
女子団体 優勝  
女子個人の部 小鶴 優勝  
阿南, 佐藤 3位



#### 剣道

男子個人1年生の部  
山川 2位

バスケットボール男子 3位

### 校長室だより

校長 高橋 誉

「美しき敗者」として  
6月下旬に菊池郡市中学校総合体育大会(以下、中体連大会)が開催され、それぞれの部で自分たちが設定した目標に向かって、中体連大会に挑戦してくれました。結果は、それぞれ、目標を達成したチーム・ペア・個人もあれば、あとちょっとの所で目標に届かず心残りや悔いが残るチーム・ペア・個人もあつたようです。皆さんもご存知のとおり、中体連大会は全国大会まで繋がっている大会で、日本一を決める大会です。日本一になれるのは一つのチーム・ペア・個人だけですが、日本一以外は、全て最終的には「敗者」となります。私は、「敗者」は、2つに分かれると感じています。「美しき敗者」と「美しくない敗者」の2つです。

「美しき敗者」とは、自分の負けを素直に認め、自分に矢印を向け、その負けから何かを学び(教訓)、次の試合や人生にその教訓を生かして挑戦することができ、敗者です。言い換えれば、転んでも(負けても)、何かを掴んで(学んで)立ち上がり、また前を向いて走り出す(挑戦すること)ができるチーム・ペア・個人ということです。逆に「美しくない敗者」は、自分が負けた原因を周りのせいや審判のジャッジのせいにして、いつまでも負けを認めることができません。何も学ばず、次へ挑戦しない敗者のことです。言い換えると、転んだ原因を地球のせいにして、ただ駄々をこねて泣き、いつまでも立ち上がらうとしないわがままな子どものようなチーム・ペア・個人のことです。

私は、この「美しき敗者」という言葉をエールとして菊陽中学校の全生徒(全挑戦者)に贈ります。美しき敗者は、記録には残らない。しかし、多くの人々(皆さんを支えてくれた家族やなかま、指導者そして観衆)の記憶の中に、感動的な「美しき敗者」として未来永劫ずっと生き続ける。(郡市大会総括並びに県推戴式での校長講話より)

六月十七日、生徒総会が行われました。今年度の生徒会スロガンは「つなぐ笑顔輝く活気あふれる学校創り」に決まりました。様々な疑問に対して丁寧に回答すること、スローガンを達成するために「想いを全校生徒で共有することができました。生徒一人一人が菊陽中学生としての誇りと自覚を持ち、学校をより良くしていきたいという想いのもと、自主的な活動が行われていきま

